

平成31年4月26日

営農技術情報 水稻(その4)

日高農業改良普及センター・日高西部支所
JAびらとり JA門別町

ほ場準備は進んでいますか？ほ場準備は計画的に進めましょう。

この時期、気象の変化が非常に大きくなっています。高温、低温共に注意し、温度管理をしっかり行いましょう。

1 育苗後半の管理

		1.5葉～3.0葉	3.0葉～移植
管理の要点		徒長を防止しながら充実した苗づくり	外の環境に慣らしていく(順化)
適温	日中	18℃～20℃	18℃～外気温 (25℃以上にしない)
	夜間	10℃	
管理作業		<ul style="list-style-type: none">晴天時はビニールを開放して徒長を防止する。晴天時の早朝は床土全体に十分かん水する。	<ul style="list-style-type: none">移植の5日前から昼夜とも開放する。葉がよれないようにしっかりかん水する。晩霜には十分注意する。

2 かん水管理のポイント

夜間の水分过多は、徒長苗となるので、かん水は早朝に行い、夕方には乾いていくようにしましょう。

3 胚乳消尽期(2.5～3.0葉期)の管理に注意！

胚乳消尽期は、環境に敏感で、急激な温度変化や各種障害への抵抗力が低い時期です。

①急激な温度変化を避ける ②過湿にしない ③風上から直接風を当てない等、細やかな管理が必要です。

4 移植が遅れる場合は老化苗対策を！

中苗マット苗で育苗期間が35日を超える場合は、老化を防ぐために1箱当たり窒素1gを目安に追肥を行いましょう。

注意！

4月26日～27日にかけて、地域により降雪を伴う低温が予想されています。
温度の下がる夜間だけシルバーを掛ける等、ハウス内の保温に努めましょう。